

## 『2018（平成 30）年度東北学院大学外部評価報告書』を受けて

東北学院大学は、教育・研究水準の向上及び組織の活性化等に資する評価を第三者から得るために、「東北学院大学外部評価委員会規程」を定め、2010（平成 22）年度から外部評価を実施してまいりました。

その規程に基づき、2018（平成 30）年度に第 9 回目の外部評価を実施し、その結果が外部評価委員会において、『2018（平成 30）年度東北学院大学外部評価報告書』としてまとめられ、本学に提出されました。

2016（平成 28）年度からの第 3 期外部評価では、まず第 1、2 期の 6 年間に外部評価で指摘された事項について、大学の対応状況の確認及び評価が行われました。

3 年目となる 2018（平成 30）年度は、新たな試みとして、本学の授業でも活用している LMS（Learning Management System）である「respon」を利用したインタラクティブなヒアリング調査を実施いたしました。各学部学科から選出された 61 名（当日欠席 1 名）に対して、事前アンケートを実施し、その回答を含めて当日外部評価委員会から質問がなされ、LMS を利用した回答から、さらに参加学生と議論を行う形式となりました。

評価の取りまとめにあたりましては、外部評価委員の皆さまには多大なるご尽力をいただきました。あらためて委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

このたび提出された『2018（平成 30）年度東北学院大学外部評価報告書』につきましては、これを広く学内外に公表させていただくこととします。

また、本年度は第 3 期外部評価期間として 3 年目となり、この 3 年間の外部評価委員会による評価を総括し、第 4 期に向けた提言となる『第 3 期東北学院大学外部評価を受けて』も併せて公開いたします。

本学としては報告書で提示された長所はさらに伸ばさせるよう努め、改善方策の検討・実施が必要となる指摘は迅速に改善を進めてまいる所存です。ご高覧いただき、忌憚ないご意見を賜れば幸いです。

2019（平成 31）年 3 月 8 日

学長 松本 宣郎